道路インフラにおける実証フィールド提供〈令和5年度の実施結果〉



ICT等を活用した新しい製品・技術開発の現場実証に必要となるフィールド(市が管理する道路施設等)を企業等に提供する取組について、令和5年度の実施結果を報告します。

	企業名	実施場所	フィールド提供概要	実施期間	実施結果
1	株式会社 フューチャースタンダード	高津区役所前	IPカメラと画像解析AIを用いた 交通量調査	令和4年11月24日~令和5 年10月31日	建物内からの撮影であったが、検出精度が90%以上と高い精度を確認 更なる精度向上に向け、カメラの画質の 改善などの課題を確認
2	株式会社オサシ・テクノス	川崎区管内	冠水センサ及び水位計による 道路冠水状況の検知	令和5年6月28日~令和6 年3月31日	観測期間中、まとまった降雨が確認できず、冠水センサ及び水位計の精度が確認できなかったまた水位計に関しては、設置した既存の柱が影響し、通信阻害が発生したと考えられるため、設置角度を調整することでエラー値を減少させることができるか令和6年度に再度、実証実験予定
3	学校法人 東海大学 岡谷エレクトロニクス株式 会社	川崎駅東口周辺	3DLiDAR及びAIカメラを用いた 駅前バス乗り場における滞留 状況の観測および公共荷捌き 場の利用状況の観測	令和6年2月22日~令和6 年3月31日	実証結果 解析中